

第2期循環器病対策推進基本計画(案)の概要

全体目標

2040年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病の年齢調整死亡率の減少

個別施策

循環器病：脳卒中・心臓病その他の循環器病

【基盤】循環器病の診療情報の収集・提供体制の整備 循環器病の診療情報を収集・活用する公的な枠組みの構築

1. 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発

- 循環器病の発症予防及び重症化予防
- 子どもの頃からの国民への循環器病に関する正しい知識（循環器病の予防、発症早期の適切な対応、重症化予防、後遺症等）の普及啓発の推進
- 循環器病に対する国民の認知度等の実態把握

3. 循環器病の研究推進

- 循環器病の病態解明、新たな診断技術や治療法の開発、リハビリテーション等に関する方法に資する研究開発の推進
- 科学的根拠に基づいた政策を立案し、循環器病対策を効果的に進めるための研究の推進

2. 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

- ① 循環器病を予防する健診の普及や取組の推進
- ② 救急搬送体制の整備
- ③ 救急医療の確保をはじめとした循環器病に係る医療提供体制の構築
- ④ リハビリテーション等の取組
- ⑤ 循環器病の後遺症を有する者に対する支援
- ⑥ 循環器病の緩和ケア
- ⑦ 社会連携に基づく循環器病対策・循環器病患者支援
- ⑧ 治療と仕事の両立支援・就労支援
- ⑨ 小児期・若年期から配慮が必要な循環器病への対策
- ⑩ 循環器病に関する適切な情報提供・相談支援

循環器病対策の総合的かつ計画的な推進の確保のために必要な事項

- (1) 関係者等の有機的連携・協力の更なる強化
- (2) 他の疾患等に係る対策との連携
- (3) 感染症発生・まん延時や災害時等の有事を見据えた対策
- (4) 都道府県による計画の策定
- (5) 必要な財政措置の実施及び予算の効率化・重点化
- (6) 基本計画の評価・見直し

<循環器病の特徴と対策>



(第1次) 静岡県循環器病対策推進計画 (計画期間: R4~5)

第1章	基本的事項 第1節 計画策定の趣旨 第2節 計画の位置づけ 第3節 計画の期間
第2章	循環器病の現状 第1節 生活習慣 第2節 脳卒中 第3節 心血管疾患
第3章	全体目標 第1節 健康寿命の延伸 第2節 年齢調整死亡率の減少
第4章	分野別施策 第1節 循環器病の診療情報の収集・情報提供体制の整備 第2節 循環器病の予防や正しい知識の普及啓発 第3節 保険、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実 第4節 循環器病の研究推進
第5章	計画の推進体制と評価 第1節 推進体制 第2節 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対策 第3節 計画の評価・見直し

1 計画策定の趣旨

令和元(2019)年12月1日施行の循環器病対策基本法に基づき、新たに静岡県循環器病対策推進計画を策定した。

2 計画の位置づけ

- ・ 国の「循環器病対策推進基本計画」を基本とした、本県における循環器病対策を推進するための計画
- ・ 静岡県の新ビジョン(総合計画)の分野別計画であり、第8次静岡県保健医療計画等と整合

3 計画の期間

令和4年度～令和5年度の2年間

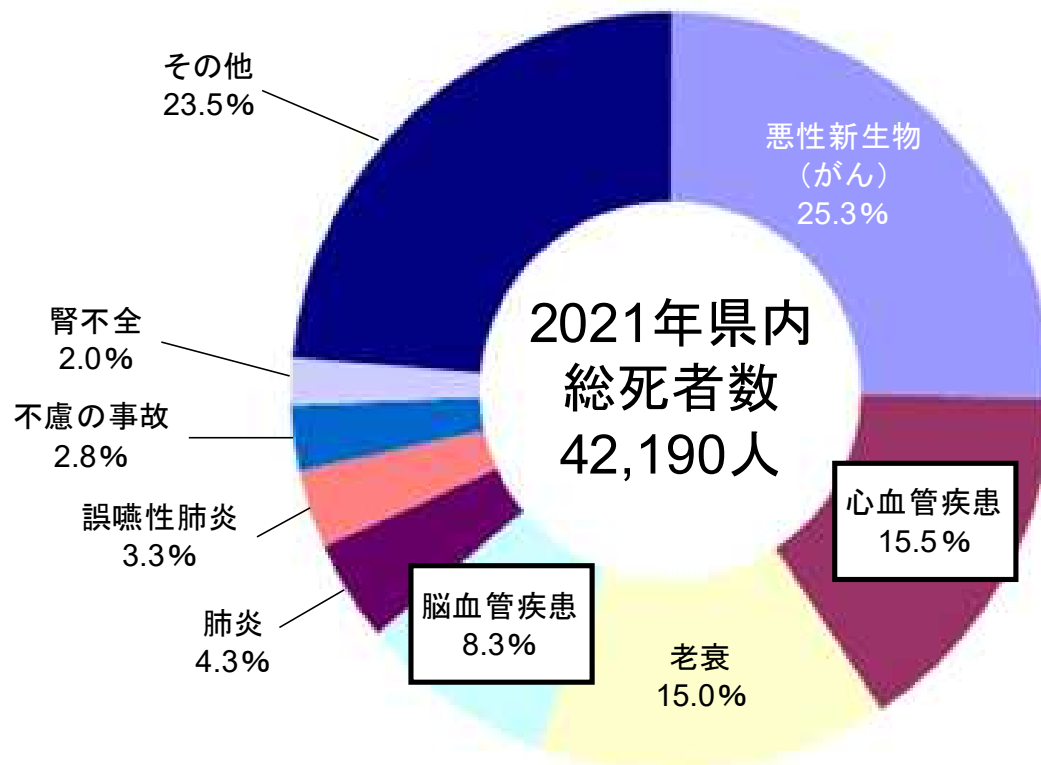
(第1次) 静岡県循環器病対策推進計画 第2章 循環器病の現状

○本県における2021年の死亡者数

脳卒中： 3,605人

心血管疾患：6,675人

循環器病：10,280人



出典：厚生労働省「人口動態統計(令和3年確定数)」

両者を合わせた循環器病は、がんに次ぐ第2位の死亡要因

1 健康寿命の延伸

- 2016年（H28）を基準とし、他の施策とともに、2040年までに健康寿命を3年以上延伸

区分	基準値 (2016年)	目標値 (2040年)	目標値の考え方
男性	72.63歳	75.63歳以上	国の循環器病対策推進基本計画による
女性	75.37歳	78.37歳以上	
男女計	74.02歳	77.02歳以上	

2 循環器病の年齢調整死亡率の減少

○ 2018年（H30）を基準とし、循環器病の年齢調整死亡率を減少

疾患	性別	基準値 (2018年)	目標値 (2023年)	目標値の 考え方
脳卒中	男性	39.3	37.8	第8次県保健医療計画の目標値
	女性	21.6	21.0	
心血管疾患	男性	59.6	改善	国の循環器病対策推進基本計画による
	女性	28.6	改善	

第3節 保健、医療及び福祉に係るサービスの提供体制の充実

○救急医療の確保をはじめとした循環器病に係る医療提供体制の構築等

<主要課題>

- ・救急搬送
- ・医療連携

<施策の方向性>

- ・患者、家族への適切な情報提供
- ・二次予防に重要な高血圧及び脂質異常症をはじめとする生活習慣病の厳格な管理
- ・これらの役割を担うかかりつけ医向けの研修会等

計画期間中の取組	目標
循環器病対策の医療連携に関する研修会開催回数	年間6回開催
心不全手帳を導入する患者の再発防止	導入1年後の再入院率20%未満

1 推進体制

2 新型コロナウイルス感染症を踏まえた対策

新型コロナウイルス感染症の重症化のリスク: 高齢者、基礎疾患

新型コロナウイルス感染症の合併症: 血栓症を合併する可能性



生活習慣病の早期発見・早期治療は、循環器病の予防に資するのみならず、新型コロナウイルス感染症の重症化を防止

新型コロナウイルス感染症に対する医療と、循環器病等のその他の疾患に対する医療を両立して確保することを目指し、適切な医療提供体制の整備を進めることとする

3 計画の評価・見直し